

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 10 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23531120

研究課題名(和文) 公共政策大学院の質保証システムの日米欧比較を通じた実証的研究

研究課題名(英文) Study about Public Administration Graduate Degree Program Quality Assurance through Comparative Consideration of American, European and Japanese System.

研究代表者

早田 幸政 (HAYATA, YUKIMASA)

大阪大学・評価・情報分析室・教授

研究者番号：30360738

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,200,000円、(間接経費) 660,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、公共政策大学院の質保証装置を対象に、我が国と欧米の比較研究を行い、我が国質保証の現下の改善方策を探り出すことができた。具体的には、同分野において、学習アウトカムを軸にアクレディテーションを展開する米国NASPAAの質保証並びに欧州で同様の活動を展開するEAPAAの質保証の現況把握を踏まえ、それが如何なる機能的有効性と国際的通用性を備えているかを考究した。その調査研究の結果を基に、同分野におけるアウトカムベースに基づく我が国公共政策大学院質保証の有為性を高める方途を明らかにした。加えて、欧州に本拠を置くIASIAの国際アクレディテーションの実施計画を具体的に把握することもできた。

研究成果の概要(英文)：This research aimed to inquire into the Japanese scheme for improvement of professional graduate degree program quality assurance through comparative study of the public administration graduate degree program evaluation system in America and Europe. In America, The National Association of Schools of Public Affairs and Administration(NASPAA) accredits professional degree program by the method of learning outcomes assessment, and European Association for Public Administration Accreditation(EAPAA) in Europe also. This research especially examined effectiveness and international validity of both accreditation systems. On the base of results, this research clarified the progressive plan of quality assurance about public administration graduate degree program in Japan. Additionally, this research grasped the strategy of international accreditation by International Association of schools and Institutes of Administration(IASIA).

研究分野：教育社会学

科研費の分科・細目：教育学・教育社会学

キーワード：公共政策大学院 質保証 アクレディテーション アウトカム評価 認証評価

1. 研究開始当初の背景

本研究は、機能別・分野別評価が指向される一環として、大学の内部質保証の効果的運用を通じ学習アウトカムの評価の実施を求められる中、公共政策教育を対象とする質保証装置の日欧米の比較を通して、そうした課題の解明を図ることを目指した。

大学基準協会は、平成 22 年度より公共政策専門職大学院の認証評価を開始した。並行して、京都の地域公共人材開発機構も、「地域公共政策士」の資格取得に直結する公共政策教育プログラムの適格認定作業の試行を始めた。

一方、米国の公共政策大学院アクレディテーションを掌る NASPAA は、評価基準を全面改定しアウトカムベースの評価体制を整えた。欧州では、「欧州高等教育圏」を展望して設立された EAPAA が、公共政策大学院のアクレディテーションに着手した。さらに、世界各国の公共政策教育・研修機関の連合体である IASIA が、同分野の国際アクレディテーションの実施を計画している。

2. 研究の目的

まず、大学基準協会の公共政策大学院認証評価の仕組みと受審校の調査を行うことを通じ、同分野の認証評価の意義と課題を明らかにしようとした。併せて、地域公共人材開発機構の質保証システムの運用に向けた試行評価の実施状況と受審教育プログラムの状況を把握する中で、この新手法の質保証システムの機能的有効性の解明を図ろうとした。また本研究では、NASPAA の受審を念頭に各公共政策大学院がアウトカム評価にどのように臨んでいるのかを探求し、NASPAA の外部質保証機関としての有為性の検証を目指した。また、欧州での EAPAA によるアクレディテーションの実体に加え、IASIA の国際アクレディテーションの準備状況の把握も試みようとした。

3. 研究の方法

本研究目的を達成するため、平成 23 年度に、公共政策教育の質保証を担う国内の相異なる上記 2 つの評価機関の評価システムの実体把握を行うとともに、書面調査、聴取り調査の方法により、受審者側の公共政策大学院や教育プログラムにおける受審に伴う影響の分析・検討をした。併せ、海外の動向把握も、書面調査を通じて行った。

平成 24 年度以降の 2 年間も、引き続き国内の同分野の質保証の状況把握に努めた。加えて、平成 24 年には、米国の NASPAA のアクレディテーションを受審する公共政策大学院の内部質保証の状況についての実体調査を行いその分析をした。さらに、平成 25 年度には、訪問調査を通じ、欧州における同分野の質保証の営みを、EASPAA の活動及びそのアクレディテーションを受審する公共政策大学院の対応状況の検討を行った。併せて、同分野の国際アクレディテーションの的確な動向把握も試みた。

4. 研究成果

本研究の学術的な独創性・特色は、まず、公共政策大学院を対象とする質保証制度の意義とその動態を高等教育研究領域で初めて解明しようとする点にあった。次いで、本研究の特色は、公共政策大学院の評価機関の評価システムと運用実体の分析を行う中で、とりわけ学習アウトカムの測定・評価の手法を、内部質保証、外部質保証の両側面から解明をしようとした点にある。さらに、公共政策教育分野の国際アクレディテーションに臨もうとする IASIA のアクレディテーションの実施に向けたプロセスとそのための準備状況を克明に跡付けていこうとした点にも、本研究の独創性がある。

本研究が、以上のような独創性や特色を備えていることの帰結として、次のような成果・意義を導出できた。

第一に、我が国公共政策教育分野の質保証が、認証評価と資格取得に直結する教育プログラム認定という相異なる形態により実施されていることに伴い、その制度と実体の把握が、内部質保証、外部質保証の両面からできたという点が挙げられる。

具体的には、大学基準協会の専門職大学院認証化システムとその運用実体、地域公共人材開発機構の「地域公共政策士」取得につながる公共政策系教育プログラムの適格認定の仕掛けとその運用実体について上記の視点からその意義を明らかにした。加えて、これらの評価を受審する教育プログラムに関しても、京都大学公共政策大学院、関西大学大学院ガバナンス研究科、東北大学公共政策大学院、同志社大学大学院総合政策科学研究科、龍谷大学大学院政策学研究科、同大学院公共政策研究科、京都府立大学大学院公共政策研究科の各2評価機関による評価への対応状況を訪問調査を通じて把握した上で、上記視点に立脚してその評価のもつ意義を明らかにできた。

第二に、米国の NASPAA が、アウトカムベースに評価方針を転換したことを受け、受審校が学習アウトカムの測定・評価を通じた自身の教育上の有効性の証明にかかる現下の状況把握を的確に行い、学習アウトカムの検証を軸とする内部質保証とそのメタ評価として位置づけられる外部質保証の機能的有効性の検証を十全に行うことができたという点が挙げられる。具体的には、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校公共政策大学院、カリフォルニア州立理工大学ポモナ校公共政策大学院、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校公共政策大学院が、NASPAA のア krediteーションの受審を前提に構築したアウトカム評価を軸とした内部質保証システムの構築・運用状況把握と分析を通して、内部質保証、外部質保証の各々の仕掛けが如何に有効に機能し

ているか、訪問調査の手法によって確認することができた。

第三に、大学並びに教育プログラムの質保証のグローバル化の行方を占う上で極めて重要と考えられる公共政策大学院教育の国際ア krediteーションの当面の動向を的確に掌握し、上記課題を検討するための糸口を引き出すことができたという点が挙げられる。この点に関わる現状把握とその分析は、書面調査を通じて行ったほか、欧州域において同域に存在する公共政策大学院プログラムの質保証に従事している EAPAA のア krediteーション活動の実相、さらには、IASIA の目指す公共政策大学院プログラムを対象とした国際ア krediteーションに関わる計画の進捗状況の検証を、訪問調査を加味して行った。

そして最終的に、これら調査研究の成果は、本科研報告にかかる冊子の印刷・刊行を通じ公にすることができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1件)

早田幸政「米国における公共政策大学院の質保証 - “Pre-2009 NASPAA Standards” の検討を軸に -」(『法学新報』第119巻第11・12号、中央大学法学会、2013.3) pp.27-55

〔学会発表〕(計 件)

〔図書〕(計 2件)

早田幸政・望月太郎編著『大学のグローバル化と内部質保証 単位の実質化、授業改善、アウトカム評価』(晃洋書房、2012.4)
<研究代表者>早田幸政『公共政策大学院の質保証システムの日米欧比較を通じた実証的研究(課題番号:23531120)平成23年度~25年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)研究成果報告書)(2014.3)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

早田幸政 (HAYATA, Yukimasa)

研究者番号：30360738

大阪大学・評価・情報分析室・教授

(2) 研究分担者

前田早苗 (MAEDA, Sanae)

研究者番号：40360739

千葉大学・普遍教育センター・教授

堀井祐介 (HORII, Yusuke)

研究者番号：30304041

金沢大学・大学教育開発・支援センター・
教授

富野暉一郎 (TOMINO, Kiichirou)

研究者番号：70263499

龍谷大学・政策学部・教授

斎藤貴浩 (SAITO, Takahiro)

研究者番号：50302972

大阪大学・評価・情報分析室・准教授

工藤潤 (KUDOU, Jyun)

研究者番号：70360740

公益財団法人大学基準協会・評価・研究
部・部長

(3) 連携研究者

()

研究者番号：